



マレーシア留学について

歯学部 歯学科 4年
橋本 薫 (はしもとかおる)

私はマレーシア留学に大学一年生の時に参加させていただきました。二週間程度の短期留学でしたが、私は今まで留学経験は無く、マレーシアに行ったこともなかったので不安でいっぱいでした。しかし、大学の留学プログラムということもあり、事前講習会や補助金などのサポートが手厚く、安心して留学に行くことができました。

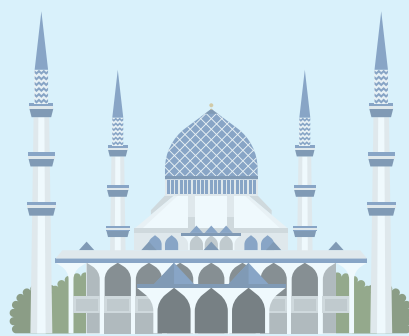
留学先では日本では経験できない様々な体験ができました。午前中はマレーシアの学生とともに現地の大学で授業を受けました。現地の授業は私たちの英語力に合わせてわかりやすく英語を学びました。グループワークなどもたくさん行い、英語で班員と力を合わせて一つのことに取り組むことで、英語で自分の考えを表現すること、相手を理解することの難しさを実感し、国際言語である英語を自由に操れないもどかしさを

痛感しました。同時に、班のみんなと団結し、課題を成し遂げた事は達成感を感じる事ができ、素晴らしい経験でした。

留学先では大学での座学だけではなく、たくさんさんの観光地や、現地ならではの風景、食事、お祭りなども楽しみました。民族文化から現代的なデパートまで幅広くマレーシアを肌で感じました。モスクと呼ばれるイスラム教の礼拝堂では、イスラム教の女性が頭に着ける布を私たちも身に付けて礼拝しました。建物の壮大さや威厳、そして礼拝に訪れたイスラム教徒の皆さんを実際に見て、日本で社会の授業で得た宗教や文化の知識がいかに薄く、いかに自分が分かっていなかったのかということを感じました。異文化を学ぶ経験は価値観を豊かにしてくれると思います。食事に豚肉は出てきません。私たちが下宿した先ではシャワーは水しか出ません。トイレ

にトイレットペーパー設置されておらず、代わりにシャワーがついています。デパートのトイレの使用にはお金がかかります。留学先でたくさんさんの衝撃を受けました。日本では当たり前だったことが当たり前ではなくなりません。最初は戸惑いましたがこの文化の違いを認識し、受け入れることができました。この経験は日本で教科書を読んでいるだけでは学べないたくさんさんの文化を教えてくださいました。マレーシアの文化と英語だけではなく、異文化の見方、付き合い方、理解し受け入れることを学びました。

現地ではたくさんさんの友人ができました。みんなで同じ歌を歌って、ダンスを踊って、食事をしてたくさんさんの交流をしました。言語があまり伝わらなくても、文化が違ってても友達になることに大きな問題はないと思いました。この留学で私は、価値観を豊かにし、異文化



を受け入れ、素晴らしい友人を作ることができました。

格別に思い出に残っていることがあります。それは、海の近くのレストランで現地の海鮮料理をみんな夕方焼けを見ながら食べたことです。現地で仲良くなった友人たちと話しながら食事し、海に沈んでいく夕焼けにみんなと一緒に感動したことは四年経った今でも思い出します。

インターナショナルオフィス(高等教育研究センター学修支援部門国際教育推進班)

インターナショナルオフィスは、徳島大学高等教育研究センターの組織として、本学の国際交流の拠点として、海外協定校との連携、日本人学生の海外留学や外国人留学生の生活、日本語学習及び就職のサポートなどを行っています。同センターに置かれているアドミッション部門やキャリア支援部門などと連携をし、本学の学生への支援を実施していますので、学生の皆さんはお気軽にご相談ください。



インターナショナル
オフィス HP

過去の海外体験記は左記徳島大学HPよりご覧いただけます。

左記QRコードよりぜひご覧ください。



徳島大学 HP